

ユビキタス・センサネットワークを支えるシステム開発論文特集の発行にあたって

ユビキタス・センサネットワークを支えるシステム開発論文特集編集委員会

委員長 山里 敬也



Mark Weiser氏は、1991年9月のScientific American誌に「The computer for the 21st Century」を発表した。これがユビキタスの始まりといわれているのは周知のとおり。Weiser氏は「未来のコンピュータは、私たちがその存在を意識しないような形で生活の中に溶け込んでいこう」と書いたが、20年以上経過した現在では、タブレット端末、スマートフォンなどユビキタスのかおる製品が、パソコンに取って代わるほどの勢いで普及し、ユビキタス・センサネットワークも初期の研究段階から実用化を目指したシステム開発へと向かいつつある。

本特集は、ユビキタス・センサネットワークを支えるシステム開発にフォーカスをあて企画したものである。システム開発に関わる貴重な成果を論文として発表して頂くことにより、今後のユビキタス・センサネットワークの発展に寄与することを目的としている。本特集に投稿された論文数は24編であり、厳正な査読の結果、最終的には論文12編を採録することとなった。また、「スマートグリッドとセンサネットワーク」、「実世界から発生するビッグデータをリアルタイムに処理するストリーム分析基盤」、「スカフオールディ

ングによる参加型センシング環境の強化」の3編の招待論文の御寄稿を頂いた。いずれも大変興味深い内容となっている。招待論文執筆者の方々にはこの場を借りて感謝申し上げたい。

最後に、本特集を発行するにあたり、御投稿頂いた方々、論文査読に御協力頂いた査読委員の方々、企画及び編集に御尽力頂いた編集委員各位、とりわけ編集幹事を務めて下さった山崎憲一委員、猿渡俊介委員に深く感謝申し上げます。

山里 敬也 (正員) 昭63信州大・工・電子卒。平2同大大学院修士課程了。平5慶大大学院博士課程了。工博。同年名大・工・電子情報・助手。平10同大・情報メディア教育センター・助教授。平16同大・エコトピア科学研究機構。平19同大・エコトピア科学研究所・准教授。平22同大・教養教育院・教授。現在に至る。平9より平10まで、ドイツカイザースラウテルン大・客員研究員。センサネットワーク、可視光通信、ITS、eラーニングなどの研究に従事。映像情報メディア学会、IEEE 各会員。平7本会学術奨励賞受賞。平17本会基礎・境界サイエティ特別功労賞受賞。平17、平19本会通信サイエティ活動功労賞受賞。IEEE Communications Society 2006 Best Tutorial Paper Award受賞。平23より通ソ副編集長。

ユビキタス・センサネットワークを支えるシステム開発論文特集編集委員会

委員長	山里 敬也
幹事	山崎 憲一・猿渡 俊介
委員	井上 真杉・鏡 慎吾・川島 英之・白石 陽
	張 兵・内藤 克浩・原 晋介・深津 時広
	三次 仁・南 正輝